

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **58114377 A**

(43) Date of publication of application: **07 . 07 . 83**

(51) Int. Cl

G11B 23/42

G11B 3/86

G11B 7/24

(21) Application number: **56212188**

(22) Date of filing: **26 . 12 . 81**

(71) Applicant: **MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD**

(72) Inventor: **NOBUE TETSUAKI**

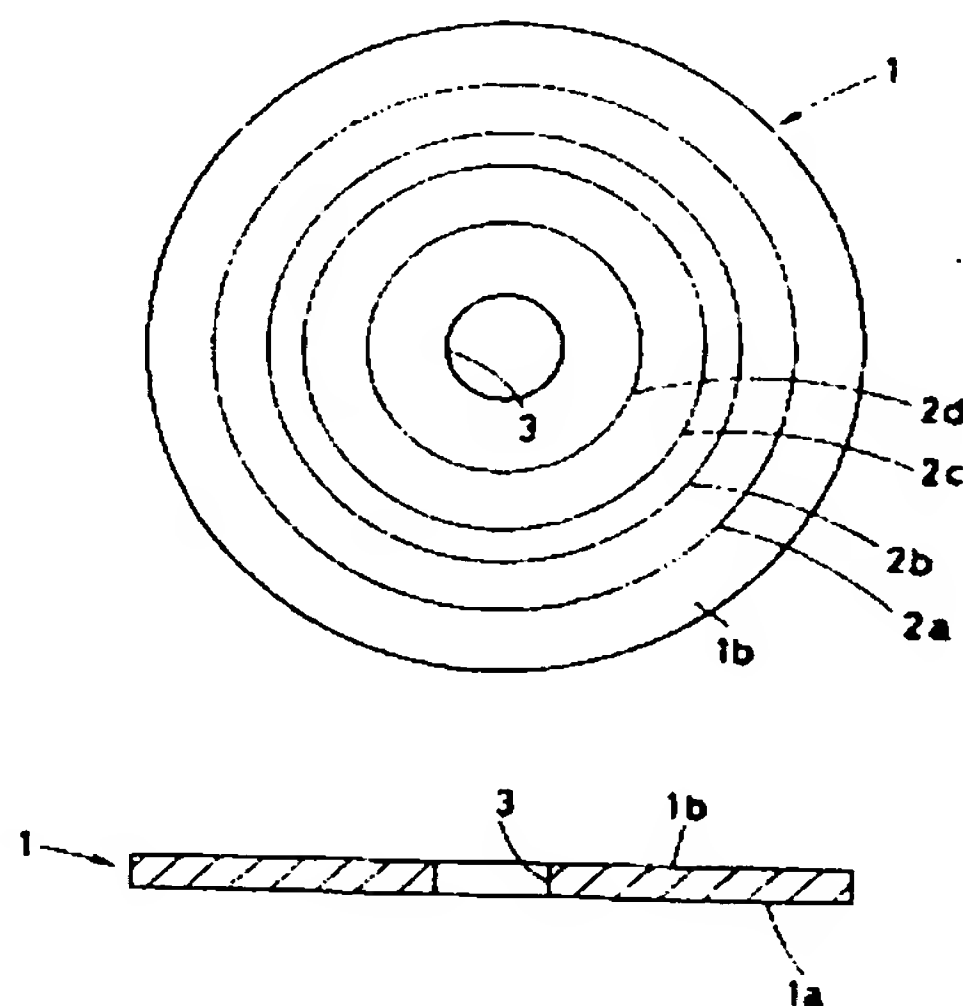
(54) RECORDING DISK

(57) Abstract:

PURPOSE: To set easily an initial position with a manual operation in a reproducing mode, by displaying the initial position at the position corresponding to a prescribed position of each information group recorded on a surface opposite to a signal recording surface of a recording disk which has the signal recording surface only on its one side.

CONSTITUTION: Plural information groups are recorded on a signal recording surface 1a. At the same time initial position displays 2a, 2b, 2c and 2d are applied concentrically to a center hole 3 of a signal recording disk 1 at positions corresponding to the initial positions of each information group on an opposite surface 1b by printing the head position of each recording information group. A signal detecting part such as an optical pickup, etc. is positioned at the displays 2aW2d respectively. As a result, the program searching is simply possible for the desired music.

COPYRIGHT: (C)1983,JPO&Japio



⑬ 日本国特許庁 (JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報 (A)

昭58—114377

⑤ Int. Cl.³
G 11 B 23/42
3/86
7/24

識別記号

庁内整理番号
7177—5D
7247—5D
7247—5D

④ 公開 昭和58年(1983)7月7日

発明の数 1
審査請求 未請求

(全 3 頁)

⑭ 記録円盤

⑯ 特 願 昭56—212188
⑰ 出 願 昭56(1981)12月26日
⑱ 発 明 者 信江哲明

門真市大字門真1006番地松下電
器産業株式会社内
⑲ 出 願 人 松下電器産業株式会社
門真市大字門真1006番地
⑳ 代 理 人 弁理士 宮井暎夫

明 細 書

1. 発明の名称

記録円盤

2. 特許請求の範囲

複数の情報群を記録した信号記録面を片面にのみ有する記録円盤であって、前記信号記録面の反対側面の前記各々の情報群の初期位置に対応する位置に初期位置表示を施した記録円盤。

3. 発明の詳細な説明

この発明は記録円盤に関するものである。

一般に、アナログ信号で記録されたレコードでは記録された曲と曲との間がはっきり目視可能なため、ピックアップの針先位置を曲間の溝に落すことで容易に曲の頭出しが可能である。しかしデジタル信号により高密度に記録されたレコードでは、高密度であるがために信号記録面での曲間位置が目視ではほとんど判別不能である。したがって手動による曲の頭出しは非常にむずかしくなると共に、電子的に信号を取り出しての自動頭出しを行う方法を使わざるをえず、手動操作主体の

低価格の再生装置がつくりにくいという欠点があった。

したがって、この発明の目的は、再生操作において複数の情報群を記録した信号記録面のそれぞれの記録情報群の初期位置を手動操作により容易に設定できる使用勝手のよい記録円盤を提供することである。

この発明の一実施例を第1図および第2図に示す。すなわち、この記録円盤は、複数の情報群を記録した信号記録面1aを片面にのみ有する記録円盤1であって、前記信号記録面1aの反対側面1bの前記各々の情報群の初期位置に対応する位置に初期位置表示2a, 2b, 2c, 2dを施したものである。

前記初期位置表示2a, 2b, 2c, 2dは、記録円盤1のセンタ穴3に対し同心円状に前記それぞれの記録情報群の頭出し位置を印刷することにより付与している。

このように構成したため、例えば前記情報群が複数の曲目である場合に、それぞれの曲目の頭出し

特開昭58-114377(2)

置を示す前記初期位置表示2a, 2b, 2c, 2dに光学式ピックアップなどの信号検出部を位置合せすることにより、簡単に所望の曲目の頭出しを行うことができる。

また、初期位置表示2a, 2b, 2c, 2dの付加により、信号記録面1aからの信号の読み出しが乱されるといった不都合もなく、円滑に信号検出を行うことができる。

この発明の他の実施例を第3図に示す。すなわち、この記録円盤1'は、前記初期位置表示を、前記実施例のように円線状に印刷して施すのに替えて、各情報群の初期位置に対応する非信号記録面1'bの同心円線域にそれぞれ4つの点を等配間隔で印刷し初期位置表示2'a, 2'b, 2'c, 2'd, 2'eとしたものである。

この実施例の効果は前記実施例と同様である。

なお、前記初期位置表示2'a, ..., 2'eの点の数については任意に設定してよく、また円線状あるいは点などに限らず模様などで表示してもよく、各情報群を識別するのに前記初期位置表示2a,

..., 2d, 2'a, ..., 2'eを色分けしてもよい。

また、その表示手段として、前記実施例のような印刷による場合に限らず、貼付などにより付与してもよく、要は視覚的に判別できるものであればどのような手段であってもよい。

以上のように、この発明の記録円盤は、複数の情報群を記録した信号記録面を片面にのみ有する記録円盤であって、前記信号記録面の反対側の面の前記各々の情報群の初期位置に対応する位置に初期位置表示を施したものであるため、信号記録面からの信号検出が初期位置表示の存在により乱されることがなく、表示された位置に再生装置の信号検出部を位置合せするだけで簡単に所望の記録情報群の初期位置を読み出すことができ、極めて、利用勝手がよいという効果を有する。

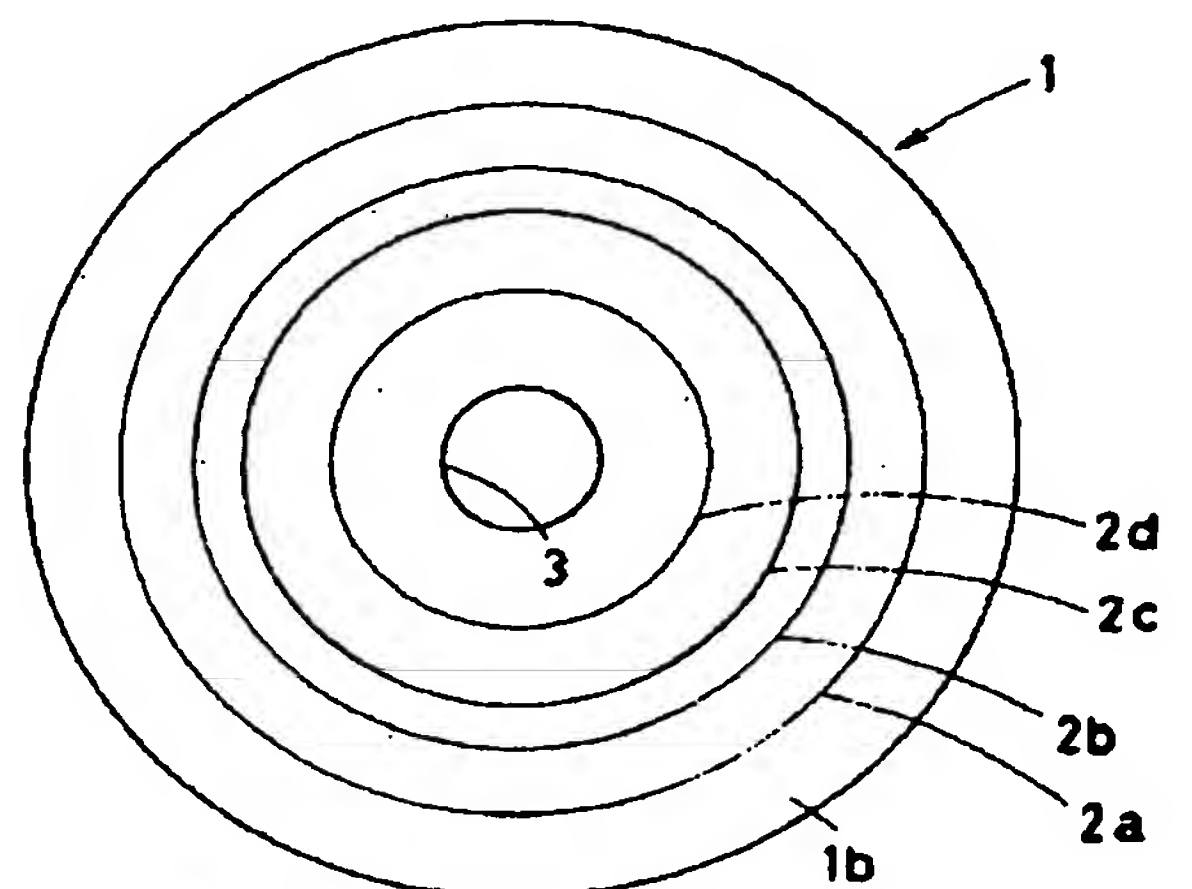
4. 図面の簡単な説明

第1図および第2図はこの発明の一実施例を示す平面図および断面図、第3図はこの発明の他の実施例を示す平面図である。

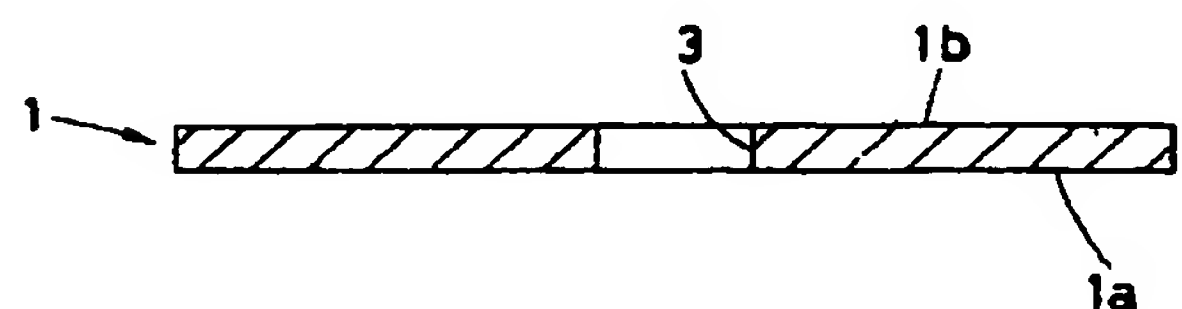
1, 1'...記録円盤、2a, 2b, 2c, 2d,

2'a, 2'b, 2'c, 2'd, 2'e...初期位置表示

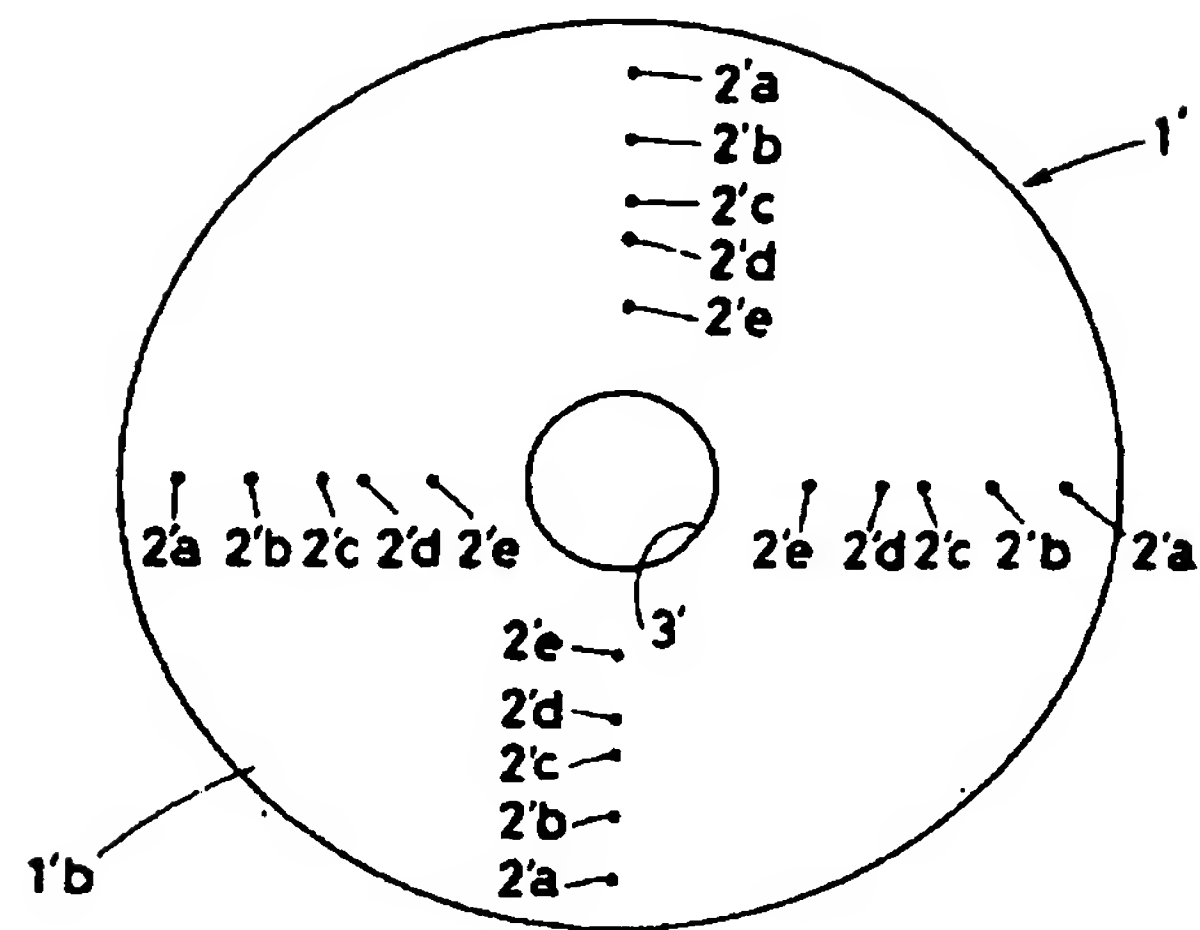
代理人 弁理士 宮 井 咲 夫



第 1 図



第 2 図



第 3 図